



市報

よく

2011(平成23)年
6.1
No.136

ボクが横手を守るぞ！

5月22日、横手市消防署前で『わくわく消防広場』が開催されました。

会場を訪れた子どもたちは、消防士や救急隊の仕事を聞いたり、煙が充満している火災現場の模擬体験室に入って、どのように行動したらよいかを学んだりしました。

特集 東日本大震災復興支援 いま、私たちにできること

主な内容

●食と農からのまちづくり…8～9 ●市政の窓（北東北
インターハイ横手市実行委員会ほか）…10 ●行政情報便
（市からのお知らせ）…11～13 ●地域の話題・ニュース
東西南北…14～15 ●えがおの交差点…16～17 ●情報・
いどばたプラザ…18～20 ●巧（ワラ工品）…23

経営するビジネスホテルは全壊、避難所での生活



岩手県釜石市
加藤 昭さん（64歳）

地震発生から2日間は車の中で過ごしました。自宅は津波に流されてしまい、経営するビジネスホテルも全壊したため、避難所で生活しています。避難所では、自衛隊が用意した風呂や再開した釜石製鉄所の職員用の風呂を利用していましたが、こうして温泉に入ることができて、とてもありがたいと思います。



1_2_3_ 送迎のバスを降り、宿泊先の温泉施設に入館する避難者の皆さん 4_入浴時間帯や夕食時間の説明を聞き、部屋の鍵を受け取ってそれぞれの部屋へ案内

避難者等元気回復宿泊(避難者リフレッシュ)事業

- 【1回目】5/10～12、37人、宿泊先：ゆとりおん大雄、雄川荘、さくら荘
 【2回目】5/17～19、28人、宿泊先：ホテルウェルネス横手路、かんぼの宿横手、ゆうゆうプラザ
 【3回目】5/31～6/2、以下2週おきに火・水・木曜の2泊3日の日程で実施予定

避難者等元気回復宿泊事業

今回の大震災では、東日本の太平洋沿岸部が甚大な被害を受け、被災地は非常に広範囲に及んでいます。そこで、被害の少なかった地域では、自治体ごとに主として支援する自治体を決めて被災地支援を行っています。横手市では、岩手県内6市と秋田県内4市からなる北東北地域連携軸構想推進協議会の加盟市による災害時相互援助協定や人事交流などの友好関係に基づき、岩手県釜石市に重点を置いて支援活動を行っています。

Interview



似顔絵師
富樫しげるさん

人は笑顔でいると自然と元気になれる

被災者の方に少しでも笑顔を取り戻してほしくて、宿泊先にお邪魔して似顔絵を描かせてもらいました。中には、ワカメの養殖場の再生に向けて将来の展望を話してくれる人もいて、逆に元気をもらいました。これからも、自分にできることを続けていきたいですね。



マッサージ師
小松田 泰さん

不自由な避難所生活 心と体のマッサージが必要

避難所生活では、体のどこかが痛くてもそれどころではない様子で、久しぶりのマッサージはとても喜ばれました。想像していたよりも表情は明るかったのですが、自由に体が動かせる状況ではないようなので、日常的に体を動かすような気配りが必要ではないかと思いました。

被災者を市内温泉に招待
釜石市への支援活動の一環として、避難者等元気回復宿泊(避難者リフレッシュ)事業が、5月10日からスタートしました。この事業は、釜石市内で避難所生活を送られている被災者の方を対象に、2泊3日の日程で横手市内の温泉宿泊施設にご招待し、心身ともにリフレッシュしていただくというものです。

1回目では、釜石小学校や釜石中学校に避難されている37人の方が、3つの温泉宿泊施設に分かれて宿泊。温泉入浴や温かい食事を楽しみ、約2カ月ぶりの家族水入らずの時間を過ごしました。また、5月17日からの2回目では、入浴や食事のほかに、市民による似顔絵やマッサージなどのボランティアも行われました。市内のマッサージ師の皆さんにボランティアへの参加を呼びかけた東海林弘さん(平鹿)は「避難所では普段着のまま周りに気を遣いながら寝ているそうで、寝間着で布団に寝られるのが嬉しいと話していた。会話やマッサージを通して、避難所生活で疲れた心身を癒していければ」と話し、今後の活動の継続にも意欲的でした。



町の大半が壊滅的な被害を受けた岩手県大槌町

東日本大震災発生から間もなく3カ月…

いま、私たちにできること

3月11日、午後2時46分、日本列島を襲った大地震。その発生から、間もなく3カ月を迎えます。観測史上最大級とされるマグニチュード9.0の激震は、死者・行方不明者あわせて24,524人(5月14日現在／警視庁発表)、建築物の全半壊・全半焼126,374戸(同)という未曾有の被害をもたらした。多くの人の「日常」を奪い去りました。

被災地が抱えるさまざまな課題は、決して他人事ではありません。被災地のために、そして次なる災害への備えとして、私たちにできることは何かを考えてみます。



釜石市災害対策本部への市職員の派遣



市消防本部職員による緊急消防援助隊活動



民間支援団体「やらねばね! 横手」の支援物資輸送活動



よこて市商工会による被災地での炊き出し

被災者の目を支える『めがね支援隊』

「ご年配の皆さんが、新聞や被災者名簿も読み取れず、困っているに違いない。一人の人に喜んでももらえればそれでいい」という思いで『めがね支援隊』の活動を始めました。

これまで、宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市、大船渡市、釜石市の避難所を訪問し、ご自身も被災したという地元の眼鏡屋さんの協力をいただきながら、全国はもとより海外から送られてきた支援の眼鏡を届けてきました。

身の回りの必需品のひとつに挙げられる眼鏡。大げさに言うと、生活に欠かすことのできない視力から得られる情報、どれほど大事かを改めて感じさせられました。



レ・メエル秋田有限会社の皆さん

これから測定車を走らせて、地元の眼鏡屋さんが復興されるまで支援を続けていきたいと思っています。



1_2_大船渡市の避難所で、横手やきそばの炊き出しと支援物資を搬入する『やらねばね！横手』の皆さん
3_陸前高田市の竹駒避難所で手打ちそばを準備するそば同好会
4_気仙沼市立総合体育館の避難所で眼鏡を配るレ・メエルの皆さん

被災地を支援する横手市民の活動

地震直後、市内は停電や断水という状況に陥りましたが、幸いにも道路が陥没したり、がけ崩れが起きたりといった大きな被害は免れました。しかし、ガソリンや食料品などが入手しにくい状況が続き、市民生活そのものも一時困難な状況となりました。そのような中、被災地で困っている人たちにののために何かできることはないかと、支援の輪が広がりをみせました。ここでは、被災地への支援活動を行った市内の企業や団体の皆さんをご紹介します。

Interview

震災直後から被災者支援に奔走、支援の継続性を痛感

被災者のために何かをしたい、また何かができるはずとの思いから、友人と行動を起こしました。釜石市と大船渡市へ支援物資を届けた際は、現地の要望の変化に支援の難しさを実感しました。今後は被災地だけでなく、市に避難している方への支援を検討しています。



やらねばね！横手 石川 淑子さん

被災地の現状を聞き、私たちにできることを

被災地から市の斎場を利用しに訪れた方と話す機会があり、現場の悲惨さを聞き、同じ東北人として何かできないか、そんな思いから自分たちの手打ちそばを提供しました。涙ながらに「美味しい」と言ってもらい、これからも継続して、私たちにできる活動をしていきます。



そば同好会(増田) 代表 林 保志さん

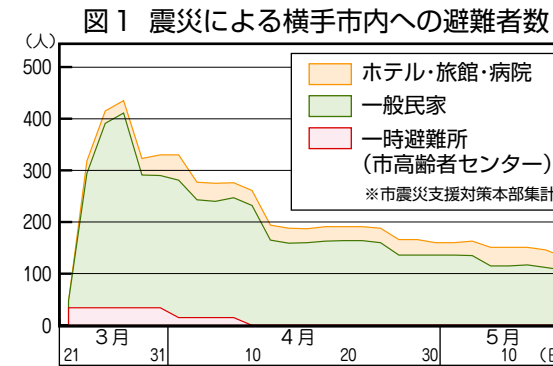
被災地へ、想いを届ける
3月19日に発足した民間支援団体『やらねばね！横手』は、市内の皆さんからの支援物資を3月30日に釜石市へ届けました。さらに4月12日には、大船渡市の市立北小学校への物資輸送と、あわせて炊き出しを行っています。今後、県南を中心とした約60の企業や団体の協力のもと、市内に避難している方への支援を計画しているそうです。

国際ソロプチミスト横手の皆さんは、2年前の、中西圭三さんのライブ収益による基金を活用して児童虐待防止の活動をしています。また、よねや商事(株)では、大船渡市で8回炊き出しを行い、きりたんぼやいもの汁などを提供。現地で活動をした企画室の山口真也さんは、「少年野球の練習場所がなく困っていることを知り、招待試合を計画中です」と話していました。

活動を行っています。被災した子どもたちのため、この基金と会員の寄付金により、子ども用品を購入して釜石市へ届けました。

横手市内に避難された被災者の支援

今回の大震災は、地震そのものの揺れによる被害よりも、大規模な津波による被害や福島原発事故による避難命令などが大きく、自宅を失ったり住みなれた地域に住めなくなったりした被災者が多く発生しました。そのため、福島県や宮城県、岩手県の被災地から横手市内にも多くの方が避難しています。県外の被災地からいらっしやった避難者の方々への支援活動について、これまでの取り組みをまとめてみました。



市内にも被災者が避難
左のグラフは、東日本大震災により横手市内に避難してこられた被災者の人数(市対策本部に報告のあったもの)の推移を表したものです。人数的なピークは地震発生から半月後の3月27日で、市が設置した一時避難所と一般民家、ホテルや旅館、それに被災地の病院から転院された方を合わせて435人が、市内に避難していました。その後、徐々に避難者数は減り、5月17日現在で58世帯132人となっていますが、自宅に戻れた方もいれば、より自宅に近い避難所や宿泊施設に移された方もいます。

避難者支援の取り組み
横手市では、3月18日に市高齢者センターに一時避難所を設置し、同日から地震による被災者の受け入れを開始。19日までに福島原発事故による避難者7世帯34人が、入所しました。

避難者の方々には、市から食事の提供や市内の温泉施設での無料入浴券の配布などを実施。また、NTT東日本横手サービスセンターの支援による無料公衆電話の設置、市内女性団体や横手やきそば暖簾会などによる炊き出しが行われ、市民の皆さんからも食料や中古自転車の提供、横手おやこ劇場からは鑑賞活動への招待など、たくさんのご支援をいただきました。

中古自転車を被災地や避難者へ

行動範囲広がり、気分転換も

宮城県石巻市 五内川真由美さん・倫くん

石巻の自宅は無事でしたが、周辺が津波の被害を受けてしまい、増田の実家に避難してきました。子どもは周りに友達もおらず、親子で家の中にばかりいましたが、自転車をいただいたおかげで行動範囲も広がり、気分転換もできるようになり、本当に助かっています。



皆さんの善意と熱い思いに感謝します

店頭やコミュニティFMで自転車の提供を呼びかけたところ、100台以上集まりました。自転車は意外と運搬が大変なのですが、ライオンズクラブさんや『やらねばね！横手』さんのご協力、約50台を陸前高田市など被災地に送ることができ、市内に避難されている方たちにも希望どおりに提供できました。市民の皆さんはじめ、多くの方のご協力があったことと感謝しています。



マンサク 加賀谷伴行さん



市が一時避難所を開設した高齢者センター前で行われた横手やきそばと横手善巻き(よこまき)の炊き出し



横手おやこ劇場では3月の鑑賞活動『アンディ先生のマジックストリート』に避難者家族を招待

物資、食材の提供、ありがとうございました

被災地に送る支援物資や、市の一時避難所で使用する食材の提供については、市民の皆さんからたくさんのご協力をいただきました。現在は、物資、食材ともに市としての受付を中止しています。

なお、市民の皆さんから提供された物資で、被災地からの要望がないなどの理由で搬送を見合わせた物品は、引き続き災害時の備蓄として市で保管しますので、ご理解をお願いします。
※支援物資の搬送状況は、改めてご報告します。

引き続き、節電にご協力ください

東日本大震災の影響で、電力需要の増える夏場に向けて、電力の供給量不足が予想されています。引き続き、節電に最大限のご協力をお願いします。

市役所内で「クールビズ」を開始しました

例年6月から9月までの期間で実施している『クールビズ（仕事のしやすい服装での勤務）』を、今年は5月23日から10月28日の期間で実施します。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

たくさんの善意・義援金に感謝します

被災地への善意として、市民の皆さんに義援金をお願いしていましたが、多くの市民、団体の皆さんからご協力をいただきました。市の窓口での義援金の受付は、5月31日で終了させていただきましたので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、皆さんからお寄せいただいた義援金や寄付金の総額や送り先などは、市報やホームページなどを通じて改めてご報告します。

被災地への義援金について

東日本大震災での義援金は、社会福祉協議会による共同募金や日本赤十字社による日赤募金が、9月30日まで継続される予定です。

また、被災自治体でも個別に義援金口座を開設していますので、金融機関の窓口で直接送金することもできます。

なお、これらの義援金は特定震災指定寄付金として所得税等の寄附金控除の対象となります。（詳しくは国税庁のホームページをご覧ください）

横手市の支援を糧に、釜石市の復興を誓う



釜石市災害対策本部物資供給班
小林 剛さん 谷藤太郎さん

横手市の皆さんには、物心ともに支えていただき感謝しています。最近、釜石市民にもいくらか笑顔が戻ってきたように思います。横手の皆さんに遊びに来ていただける日を信じ、がんばっていききたいと思います。（小林さん）

横手市の皆さんには、私たちの体調にまでお気遣いいただき、心強く感じています。今回のことで、横手市と釜石市のつながりはより深く強固なものになったと思っています。いつか必ずご恩返ししたいと思います。（谷藤さん）



横手市からの派遣職員が切り盛りして支援物資を配る「青空市」。は釜石市民も信頼を寄せています

釜石市の被災状況(5月17日現在)
死者・行方不明者1,316人
家屋倒壊数3,723戸
避難所50カ所、避難者数3,270人

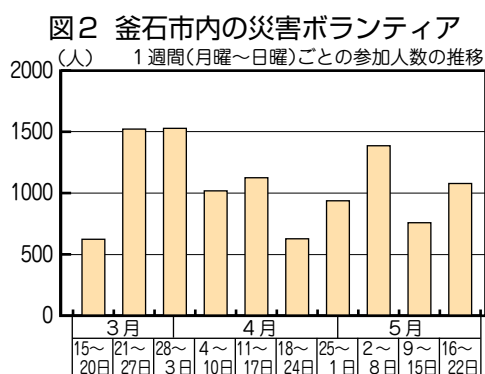
被災地へ市職員を派遣

被災自治体や県の要請による市職員の派遣は、地震直後から消防職員が岩手県内で救急、消火活動や人命検索にあたったほか、保健師や上下水道部、建設部の技術職員と県被災地支援チームへの参加者を合わせると、5月末までのべ121人になります。

これは別に、市独自の支援として、釜石市への公用車8台の無償貸与と同市災害対策本部への職員派遣を行っています。横手市からの派遣職員は、全国から届く支援物資の受付から管理、配給までの一連の業務を担当。3人1組が1週間交代で仕事を引き継ぎ、1部門を任せられる形で業務に当たっています。被災自治体では、自治体職員自身も被災者という状況の中で、通常業務と災害復旧の取り組みを並行して行う必要があります。そのため、市としては被災地の要望に応じた息の長い支援を続けていくことにしています。

被災地復興の支えに…、横手市の被災地支援

大地震の発生以来、市では被災自治体や秋田県などの要請により、市職員を被災地に派遣しています。年度替わりや本庁集約化による事務所の移転と重なる中で、職員の派遣により通常業務に支障を来さないよう、全庁体制で調整して対応してきました。仮設住宅の建設やライフラインの復旧が進む中、季節の移ろいとともに避難所の衛生面や被災者の心のケアなど、被災地の状況の変化に応じた支援が、今後も継続して必要になります。



泥出し、仮設住宅への引っ越し作業などに人手が必要な状況が今後も続く見込みです。災害ボランティアを求めている方は、社会福祉協議会を通じてボランティア保険への加入などの備えをした上で、被災地の災害ボランティアセンターに活動内容や状況を問い合わせてください。

復興への道のりは続く…
被災地の中には、仮設住宅への入居が始まった自治体もありますが、復興への道のりは当分の間続きます。津波により行政機能が著しく低下したり、原発事故により地域ごと避難している自治体がある中で、被害の少なかった私たちの役割は、被災地支援を息の長い取り組みとして続けていくことにほかなりません。

被災地の状況の変化に応じて、支援ニーズも変わってきます。その変化に対応するためには、4月の震災復興決起大会で宣言したように、雪害の影響を克服しながら地域の体力を維持するような活動を続ける必要があります。

被災地を支えるために、そして、一人ひとりができることを考えていきましょう。

Interview

災害支援活動にあたる方たちの心のケアも大事

秋田県緊急消防援助隊の2次隊として、地震直後に岩手県山田町で支援活動にあたりました。人命検索で生存者を見つけれなかったことや被災地の惨状、地元職員の殉職などが頭を離れません。被災者だけでなく支援活動を行う方々の心のケアも忘れてはならないと思います。



市消防本部
消防司令
大石義孝

夏場に向けて、避難所の環境にも注意が必要



市健康推進課（避難者等元気回復宿泊事業の送迎に担当）

小野浩子保健師
吉田真由子保健師

避難所はかなりほこりっぽい感じで、これから暑い季節を迎えるので、衛生面や感染症に注意が必要だと感じました。一人ひとりのスペースが限られていて運動が不足がちのため、足腰が弱ってしまったという方もいました。仮設住宅への入居が始まり、生活が変わることへの期待は大きく、入居が決まらない方にも励みになっているようでした。



地震直後、岩手県山田町で人命検索活動を行う緊急消防援助隊員

被災地への市職員派遣(5月25日現在)

▼緊急消防援助隊（岩手県山田町・宮城県南三陸町）消防本部職員51人
▼応援給水活動（岩手県山田町）上下水道部職員17人
▼被災地危険度判定支援（宮城県仙台市）建設部職員1人
▼保健師活動支援（岩手県釜石保健所管内）保健師2人
▼秋田県被災地支援チーム・避難所運営支援（岩手県釜石市）50人
※釜石市災害対策本部派遣（岩手県釜石市）30人＝6月以降も継続予定



シシリアンルージュを加工して製品化したピューレジュース

その活動を支える販売促進システムがオイシス（OISYS）です。

オイシスは、あらかじめ市内の特産品（農産物・加工品）の名称、品質、価格、生産数量などの情報を蓄積。そのデータから、市では商談相手の

市では、これまで地元の特色ある農産物や、それらを加工した商品の開発に取り組みできました。また、その特産品を商談会や物産展などの機会に売り込み、販路の拡大を図っています。

商品提案
特産品の販路拡大を推進します

横手のおいしさを売り込むため
オイシスで販売展開を加速します



特産品情報を効率的に活用できる「オイシス」の検索画面



この機会に、農業者、事業者の皆さまからの農産品や加工品の情報提供をお待ちしています。

このシステムの導入により特産品と購入希望者を効率的にマッチングさせ、今後、仙台の直売所や首都圏、さらには海外への販路拡大に活用していきます。

ニーズに適した商品を選び出し提案します。

仙台に横手市直売所6/2（木）午前10時オープン！



6月2日（木）に仙台市青葉区一番町おおまち商店街の八百長商店内に、うめっす菜～横手市直売所（仙台圏1号店）がオープンします。

平成22年度からテストマーケティングとして数回特産品販売を行い、お客様から大変好評をいただきました。今後、仙台市民の皆さんに、横手の旬の農産品や加工品、そしてまごころをお届けしていきます。

- ◆販売時間 午前9時～午後7時
- ◆定休日 毎週日曜日、年始（1月1日～4日）
- ◆開設場所 仙台市青葉区一番町三丁目6番12号 八百長商店内
仙台市在住のお知り合いの方に『横手市直売所』の宣伝をお願いします

◆オープニングイベント（6/2・午前10時～）

- * 横手やきそば実演、振る舞い（セレモニー開始前到着50名、商品を購入された方先着250名に整理券を発行）
- * 商品を購入された方全員に、シシリアンルージュを加工した『とまと大福』をプレゼント



4月19日、20日に開催された「がんばろう！東北・仙台応援フェア」の様子

■食と農からのまちづくりに関する問い合わせ先

市産業経済部マーケティング推進課（県平鹿地域振興局内） ☎32-2117

プラスYで横手を元気に！



チーム
プラスY！

地域に浸透する『食と農』チーム・プラスYプロジェクト活動

『食と農』チーム・プラスYプロジェクトは、今年で3年目を迎えました。全市民参加型プロジェクトとして、これまで市内外の個人、企業、学校など、約5,500人の皆さんに参加していただいています。

さらに、横手の品質のよい（YOI）農産物を食べ、その喜び（YOROKOBI）を感じていければ、地域がよりよく（YOKU）なっていくにちがいない、との思いが込められています。



「あさくらっこのプラスY、
横手のおいしさを見つけます」
～朝倉小学校6年生の皆さん～

今年『チーム・プラスY』に参加している朝倉小学校6年生の皆さんが、総合学習の時間に、横手の特産品であるシシリアンルージュの栽培を通して、地産地消や食育について学習します。

プラスY
朝倉小学校から
広がる地産地消の輪

チーム・プラスY 参加者募集

チーム・プラスYに参加するには、個人や家族、仲間同士で地産地消の輪を広める「取り組み目標」を宣言します。あとはその目標に向かって実践していただき、1年ごとに取り組み結果をアンケート形式で報告していただきます。ユニークな実践例は表彰しています。取り組み目標である宣言が決まったら、市マーケティング推進課や各地域局産業建設課窓口にて用意してある申込用紙に記入し、提出してください。

これまでに、参加されたみなさんの宣言は市報（例えば、2011年1.1号No126号、11ページ）で紹介していますので、参考にしてみてください。

チーム・プラスY参加者数

個人 342人
団体 118
のべ 5,500人

【平成23年4月30日現在】

食のマーケティングまると相談所の開設

市では農産物のブランド化や産地づくりを推進するため、『食のマーケティングまると相談所』を開設しています。市内の農業者や事業者など横手の食と農に関わるすべての方を対象として、商品開発や改良、販売戦略についてのご相談を受け付けていますので、お気軽にご利用ください。

食のアカデミーの地産地消推進

『食のアカデミー』は市内幼稚園・保育所、未就園児対象のサークルや婦人会など、様々な年齢層、団体を対象に食育や栄養指導などを交えた地産地消レシピの紹介や、食に関する講話などを出前形式で行います。
ぜひ皆さん、お気軽にご活用ください。

採用 平成24年4月採用予定 市立大森病院職員を募集します

- ◆職種および採用予定人数 看護師 3名程度
- ◆受験資格 次の要件を満たす方
 - ・昭和56年4月2日以降に生まれた方
 - ・採用後、通勤に支障のない範囲に居住できる方
 - ・募集職種の免許を有する方、または平成24年3月までに実施される国家試験により免許取得見込みの方
- ◆採用予定年月日 平成24年4月1日
- ◆試験期日 7月9日(土)／市立大森病院
- ◆受付期限 6月30日(木)必着
- ◆申込み 〒013-0525 横手市大森町字菅生田245-205 市立大森病院総務課 ☎26-2141

※試験案内・申込用紙は、市立大森病院にあります。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込用紙請求」と朱書きし、宛先を明記して120円切手を貼った返信用封筒(角型2号)を同封のうえ、市立大森病院総務課にお送りください。申込用紙等は市立大森病院ホームページからも入手できます。

テレビのアナログ放送終了まで `あと 53日、`

(平成23年6月1日現在)

アナログ放送は、7月24日にすべての放送が終了します。それまでに、地上デジタル放送対応のテレビに買い替えることや、地上デジタルチューナーを買い足すなどの準備が必要になります。デジタル放送の移行に不安がある方には、総務省秋田県テレビ受信者支援センター(デジサポ秋田)が無料相談会を開催します。お気軽にご来場ください。

- ◆場 所 Y²(わいわい)ぷらざ(横手駅前) 1階ホール
- ◆期 間 6月15日(水)～8月26日(金)
- ◆時 間 午前9時30分～午後4時30分 ※期間中は無休
- ◆問合せ 市総務企画部情報政策課(本庁北庁舎内) ☎35-2166、デジサポ秋田 ☎018-803-1100

所得証明書等は6月13日(月)から発行します

- 平成22年分の所得証明書および平成23年度の市県民税課税証明書等は6月13日から発行できます。
- ◆問合せ 市財務部市民税課 ☎32-2510、各地域局地域振興課

農業 第134回秋田県種苗交換会の キャッチフレーズを募集します！

10月29日から11月4日まで、横手市で開催される秋田県種苗交換会のキャッチフレーズを募集します。横手市をアピールするキャッチフレーズを応募してみませんか。

- ◆応募資格 横手市にお住まいの方、もしくは横手市内に勤務または通学されている方。
- ◆応募規定
 - ①15字以内で、`食と農と人、`をテーマにして、横手市の特色を表現したもの
 - ②未発表の自作で1人1点まで
- ◆応募方法 任意の用紙に、キャッチフレーズ、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業(学生の場合は学校名)、電話番号を記入して、郵送または持参、ファクス、電子メールで応募してください。
- ◆発表および表彰
 - 最優秀賞・・・1点 賞状と2万円相当の記念品
 - 優秀賞・・・2点 賞状と1万円相当の記念品

※入賞作品は、市報よこてやJ A広報、実行委員会ホームページ等で発表し、最優秀作品を種苗交換会の宣伝等に使用します。

- ◆募集期間 6月1日(水)～27日(月)※必着
- ◆応募先・問合せ 〒013-8502 横手市旭川一丁目3番41号 第134回秋田県種苗交換会 横手市協賛事業実行委員会事務局(県平鹿地域振興局内) ☎32-1265 ☎32-4021 ☐shubyo@city.yokote.lg.jp



農業 農業者年金の「現況届」をご提出ください

5月末に農業者年金基金から受給者へ送付された「現況届」用紙は、引き続き年金を受給する資格があるか確認をするためのものです。届出用紙の裏面を参考に記入し、各地域局農業委員会事務局までお届けください。

期限まで提出されない場合、支給が一時差し止められることがありますのでご注意ください。

- ◆提出期限 6月30日(木)必着
- ◆問 合 せ 各地域局産業建設課農業委員会事務局担当

○市県民税1期

納期限は6月30日です

- ◆市税等の納付は便利・安心・確実な口座振替で！
- ◆市財務部納税課(横手庁舎) ☎32-2518

6月-Jun-												
			1	2	3	4						
5	6	7	8	9	10	11						
12	13	14	15	16	17	18						
19	20	21	22	23	24	25						
26	27	28	29	30								

農業の祭典の成功に向けて

種苗交換会横手市協賛事業実行委員会設立総会



種苗交換会横手市協賛事業実行委員会設立総会の様子

10月29日から11月4日までの7日間、第134回秋田県種苗交換会が横手市で開催されます。横手市での開催は9年ぶり12回目となります。その開催に向けて、5月17日、第134回秋田県種苗交換会横手市協賛事業実行委員会設立総会が平鹿生涯学習センターで行われました。市やJ A・商工関係者など75人が出席し、会長には五十嵐市長を選出。副会長らに委嘱状を交付したのち、予算や事業計画についての審議が行われました。

会の締めくくりには、横手市全体が一体となった交換会の開催を目指すことを確認して終了しました。

◆横手の街を音楽で満たし、人と人をつなぐイベント

今年8月21日、『YOKOTE 音 FESTIVAL』が開催されます。プロもアマも関係なく、ストリートで演奏される『音』を楽しんでもらおうと企画されたイベントです。

イベントを主催する実行委員会は『子どもも大人も、高齢者も一体になれる音楽イベント』を市民の皆さんと創りあげ、横手の街が音楽であふれ、喜びと笑顔があふれる1日をめざして準備を進めています。

また、実行委員会では当日のイベントを手伝ってくださるボランティアスタッフを募集しています。興味のある方は、ホームページをご覧ください。

▼ホームページURL <http://yokote.co.jp/oto/>

※このコーナーでは『YOKOTE 音 FESTIVAL』の情報をお知らせしていきます。

YOKOTE 音 FESTIVAL
2011.8.21(sun) inYokote

音楽で
横手を笑顔に
音フェス
NAVI

北東北総体に向けた準備が本格化

全国高等学校総合体育大会横手市実行委員会

7月に『2011 熱戦再来 北東北総体』の大会愛称のもと、秋田・青森・岩手の3県合同で開催される平成23年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)。横手市では、男子バレーボール競技が7月28日から8月1日までの5日間、各地の予選を勝ち抜いた56チームにより行われます。その開催に向けた、第2回市実行委員会が5月16日、雄物川コミュニケーションセンターで行われ、五十嵐市長が「2ヵ月後に開催される大会の成功に向けて、実行委員会と市民

が協力し準備を進めていきます」とあいさつ。引き続き、男子バレーボール競技ポスターの選考結果が発表され、入賞者が表彰されました。その後、大会日程や予算が審議され、本番までのスケジュールを確認しました。



最優秀作品賞を受賞した伊藤光さんの大会ポスター

会の実施に協力していきます。▼ポスター選考結果
▽最優秀作品賞 伊藤光さん(横手城南高校)▽優秀作品賞 伊藤菜摘子さん(同)、中川穂南さん(雄物川高校)
※北東北大会愛称『2011 熱戦再来 北東北総体』は周東晃平さん(横手高校)の作品が採用されました。

素敵な出会いの場を提供

あきた結婚支援センター

結婚を希望する独身男女を支援する『あきた結婚支援センター』が4月20日から四日町で相談事業を開始しています。これまで県が設置していたセンター事業に市と、各種団体が加わり、リニューアルされました。横手市のほか、大館市、秋田市でも業務を行っています。

の情報を検索。コーディネートが日程を調整し、出会いの場が提供されます。個人情報保護に関する指針も定めていますので、安心してご利用ください。

■場所／横手市四日町6番8号(横手地域局向い)

■連絡先／南センター

利用方法はセンターで、会員登録し、パソコンでお相手

0800・800・0413
月・金 午後1時～9時
土・日 午前9時～午後6時

共に歩もう復興への道

■矢口高雄画業40周年特別原画展パート2 (増田)

震災の津波被害で休館となっている、石ノ森萬画館の復興を支援する矢口高雄氏の特別原画展が、4月23日から5月29日まで、増田まんが美術館で開かれました。

開催期間中の5月3、4、5、7、8日にはチャリティーサイン会が行われ、矢口氏をはじめ企画に共感した大森町出身のきくち正太氏や秋田市出身の倉田よしみ氏など漫画家9人が日替わりで参加。各漫画家が描いたオリジナル色紙にサインをした後は、握手や写真撮影に気軽に応え、県内外から訪れたファンを喜ばせました。



あいさつをする矢口高雄氏(左)、サイン会(右上)、原画展(右下)の様子

横手の「食の魅力、をPRする

■横手やきそばプロモーションビデオ完成(横手)

5月12日、Y²(わいわい)ぶらざで、横手やきそばプロモーションビデオ完成記者発表会が行われました。

市役所職員で結成している、横手やきそばバンドの軽快な曲にあわせて、市民ボランティア約250人がテンポのよいダンスを披露。横手やきそばの調理シーンも随所に盛り込まれた、約5分間の内容です。

横手やきそばに携わる、観光関係者の想いが込められたプロモーションビデオ。イベント会場や公共施設などで、上映されます。



会場で披露されたプロモーションビデオ

運動で、心も体もいきいき

■横手市障がい者スポーツ教室(横手)

5月15日、日ごろ体を動かす機会が少ない方々が、さまざまな運動を通して交流を深め、健康増進を図ろうと、横手体育館を会場にスポーツ教室が開催されました。

この教室では、卓球台を囲んで専用のボールを転がして試合をする『卓球パレー』と、直径約90cmの輪をめがけて円盤型のディスクを投げる『フライングディスク』の2種目を体験。参加者からは「思ったほど難しくなく、大勢で体を動かすことができて楽しい」との感想が寄せられ、仲間の応援にも熱が入っている様子でした。



フライングディスクを体験する参加者の皆さん

ボランティアで塗装作業

(増田)



横手市塗装業組合(泉昌宏組合長・19社)が5月20日、真人公園・野外ステージ管理棟の塗装補修作業を行いました。地域貢献を目的に、毎年各地域を回って行われているこのボランティア活動は、今年で20年目。雨風や雪で色あせた柱や壁が、参加した15人の手際よい丁寧な作業で塗り直されました。

笑ってもっと健康に

(平鹿)



健康づくり講演会が、5月18日に平鹿生涯学習センターで、秋田市のすずきクリニック・鈴木裕之院長を講師に迎えて行われました。『楽しく笑って長生き人生』という演題で、日本笑い学会・南々亭骨太氏としても活動している鈴木院長の話術の語に、約130人が訪れた会場は笑いに包まれていました。

地域の食材で特産品開発

■栗どぶろく試飲会(山内)

横手市は、昨年6月30日に、地域経済の活性化を狙った規制緩和策として設けられた国の構造改革特区のひとつである『どぶろく特区』の認定を受け、このたび認定後、第1号となるどぶろくのお披露目がありました。

5月8日に、四季彩館を会場に試飲会が開催され、招待を受けた関係者の皆さんは、記念すべき第1号の『栗どぶろく』を堪能しました。

試飲会を主催した『さんない四季彩会』の代表で、栗どぶろくを製造した坂本勇さんは「酒類製造の免許を取った後は、いいものを作らなければいけないという責任感がわいた。おいしいどぶろくを造ることがお世話になった方への恩返し。皆さんから感想をいただき、さらによりものにしていきたい」と意気込みを話してくれました。今後は、試飲会で寄せられた感想をもとに、さらにおいしい栗どぶろくの完成が期待されます。



発酵文化が息づく横手に新しい酒の文化が誕生しました

ふるさとへの想いを、音楽に乗せて

ヨコテ・ヒーローズ首都圏で活動を展開

ヨコテ・ヒーローズは、首都圏在住の横手高校吹奏楽部OBが主体のスイング・ジャズバンドです。平成18年に開催された東京美入野同窓会・設立50周年の記念イベントで、35人ほどで演奏したことをきっかけに、これからは活動できる姿がないかを話したところ「スイング・ジャズバンド系ならできるのでは」とオーコー・ヒーローズの名称で活動をスタート。出身校の粋を取り扱うため、昨年「横手」を表現する形に改名しました。

各首都圏ふるさと会の総会では、大雄会をはじめ十文字会、雄物川会、大森会、千畑会、仙南会などで演奏を披露。毎年、クリスマスにはチャリティーコンサートを開催し、入場者からのご厚意を「あしなが育英会」に寄付する活動も行っています。

8月21日に横手で開催される『YOKOTE 音 FESTIVAL』への参加も決定し「地元横手市ともしっかり関わりたい」というメッセージを音楽に乗せて演奏活動を展開しているヨコテ・ヒーローズ。横手の応援団として首都圏と地元との新たなネットワークが動き始めています。



平成22年12月25日、東京・六本木で開催されたチャリティーコンサートを終えたヨコテ・ヒーローズのメンバー
連絡先／ヨコテ・ヒーローズ 広報担当 佐藤 登さん
✉ n.sato@samsung.com ☎ 090-3068-9633

みんなで交通ルールを守るよ！(山内)



5月17日、秋田県のご当地ヒーロー『超神ネイガー』が、さんない保育園にやってきました。

園児たちは、ネイガーと一緒に交通ルールを学び、道路に飛び出さないこと、横断歩道では左右を確認してから渡ること、道路や車のそばでは遊ばないことを約束しました。

マスコットで交通安全啓発

(大森)



5月13日、前田老人クラブ地域見守り隊が横手警察署大森駐在所員と協力し、市立大森病院前で交通安全活動をしました。

地域見守り隊は、来院者に用意した約100個の草履のマスコットを手渡ししながら、交通安全を呼びかけました。



小松菜の和風サラダ



食事バランスガイド

主食/黄色	1	2	3	4	5	6	7
副菜/緑色	1	2	3	4	5	6	
主菜/赤色							
牛乳・乳製品 /むらさき色							
果物 /青色							

1人分の栄養素
エネルギー 149.0kcal
タンパク質 6.4g
脂質 10.2g
塩分 0.7g

材料（4人分）

- 小松菜…1束 ○ニンジン…1/3本 ○ゆで卵…2個
- ジャガイモ…1個 ○プロセスチーズ…2切れ
- ちりめんじゃこ…大さじ1
- 【調味料1】 ○だし汁…大さじ3 ○しょうゆ…大さじ1
- 【調味料2】 ○マヨネーズ…大さじ3 ○味噌…小さじ1
- レモン汁…大さじ1 ○黒コショウ…少々

作り方

- ①小松菜は茹で、冷水で冷ましてから3分の長さに切る。
- ②ニンジンは皮むき器で薄く削って茹で、冷水で冷ます。
- ③①と②の水気を切り、あわせた調味料1をなじませて軽くしぼる。
- ④ジャガイモは拍子木切りにして堅めに茹でる。チーズは細切りにする。
- ⑤調味料2をあわせ、③と④とちりめんじゃこを加えて混ぜる。
- ⑥器に盛り、半分に切ったゆで卵を添える。

◎今月の紹介者

横手市食生活改善推進協議会
平鹿支部



柿崎ひろ子さん（平鹿・中吉田）

小松菜の味をマイルドにして、子どもが食べやすいサラダにしました。
小松菜はカルシウム、カリウム、βカロテンなどの栄養素が豊富で、骨や歯をじょうぶにするカルシウムは、ホウレンソウの3倍も含まれています。

今月の食材

平鹿町ハウス団地組合の小松菜は、5月から11月までの期間、主に関東圏に出荷しています。高温期の栽培が難しい野菜ですが、これまで培った技術と経験で、夏場でも安定的に高品質のものを生産しています。市場でも、鮮度の良さと品質の均一さが高く評価されています。

（平鹿町ハウス団地組合・佐藤新悟さん・平鹿浅舞）

『小松菜』



えがおの交差点

レクリエーションダンスサークル 午後のレモンティー



レクリエーションダンスは、いろんなジャンルの曲に振り付けし「いつでも・どこでも・誰とでも、楽しく踊れるダンス」として愛好家が増えています。

『午後のレモンティー』は、ダンスに興味のあった仲間が集まり平成10年に発足。市の体育協会に所属し、芸文祭での発表や敬老会、グループホームへの慰問に向け、毎週水曜日の午後1時から雄物川コミュニティセンターで、ステップや手の振り付けを講師の指導のもと練習に励んでいます。

「ダンスをはじめてから、健康で姿勢が良くなりました。月に一度のお茶会も、楽しみのひとつです」と笑顔で話す会員の皆さん。

代表の高橋さんは「会員同士の親睦と地域との関わりを大切に活動しています。アップテンポな踊りからフラダンス調の踊りまで、楽しみながら健康づくりができるダンスですので、興味のある方は見学に来てください」と話してくれました。

◆問合せ 雄物川生涯学習センター ☎22-5535



このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式でご紹介します。小沼さんは、前回の藤井さんからのご紹介です。

美帆さんは、仙台市の医療事務専門学校を卒業後、渡部医院（十文字）で医療事務職として働いています。「来院する方の体調を心配し声をかけると、逆に私を励ましてくれる方もいます。これから、何気ないふれあいを大切にしていきたいです」と話してくれました。

昨年、大雄地域で住宅資材の販売・設置の仕事をしている佐太さんと結婚した美帆さん。うれしいことは続き、お二人の間には、6月下旬にお子さんが誕生するとのこと。「二人が経験した、バスケットボールを子どもとすることが、今の夢です」と笑顔を見せてくれました。

また「幼い頃、小児ぜんそくで入院することが度々あり、家族に心配をかけました。親になろうとしている今、あらためて両親へ感謝しています」と話し、自分を支えてくれた人を大切に想いながら、佐太さんと生まれてくるお子さんとの新たな歩みを待ち望んでいる様子でした。



小沼 美帆さん

おぬま みほ（23歳・大雄）

思えば遠くへ来たもんだ

長澤 李里さん

ながさわ りり（27歳・平鹿）

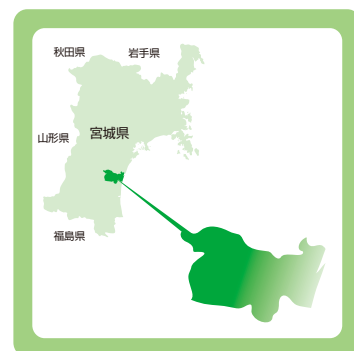


李里さんは宮城県名取市の出身で、結婚を機に横手市に来て7年目。毎日、勤務先の仙台へ長距離通勤をするご主人の妻として、また保育所に通う2人のお子さんの母として、家族を支えています。

東日本大震災で太平洋沿岸の名取市も津波による甚大な被害を受けました。「母は、職場から車で避難している際、津波に巻き込まれました。ドアを必死に開け、職場の人たちと懸命に高台に登りました。その後、街並みは一変してしまいました。今は母の仕事も再開され、落ち着きを取り戻しつつあります」と震災を振り返ります。

また、4月に開局した横手からエフエムで、毎週月曜日の午前11時から午後1時までパーソナリティを務めている李里さん。身近な子育て情報を中心とした明るい放送を心掛けています。

「震災後、応援していただいた多くの皆さんに感謝しています。これからはエフエムを通して、人との出会いを大切に、また子育てを通じて自分も成長していきたいです」と力強く話してくれました。



笑顔がいっぱい



情報

information

募 第40回雄物川駅伝競走大会 集 参加チーム募集

- ◆日時／6月26日(日)午前10時
スタート(開会式は午前9時)
- ◆場所／雄物川陸上競技場
- ◆出場資格／横手市に住所がある方または市内に勤務する方(学生は除く。ただし、職業訓練生は出場可)
- ◆チーム／監督1人、選手6人、補欠は6人まで
- ◆申込期限／6月9日(木)
- ◆申込み／雄物川体育館
☎22・5644

講 子どもの広場ひろか主催 座 子育て講習会

- ◆菌科衛生士を講師に迎え、乳幼児期の虫歯予防について学びます。
- ◆日時／6月17日(金)午前10時30分～11時30分(受付は午前10時～)
- ◆場所／平鹿町アイリスハウス

- ◆託児／あり(予約不要)
- ◆参加費／無料
- ◆申込期限／6月15日(水)
- ◆申込み／つどいの広場ひろか
☎24・3155

講 第2回育児講座「親子で 座 楽しもう！リズムあそび」

- ◆音楽療法士の日沼郁子先生と一緒に、音楽を通して親子でスキップ遊びをしながら、楽しくリズム遊びをします。
- ◆日時／6月24日(金)午前10時～11時30分(受付は午前9時40分～)
- ◆場所／たいよう保育園
- ◆対象／未就園児とその保護者
- ◆参加費／無料
- ◆募集人員／親子50組
- ◆申込期限／6月22日(水)
- ◆申込み／大雄子育て支援センター
☎56・5061

講 横手市雇用創出協議会 座 各種セミナーのご案内

- ◆「フードコーディネーター3級実践講座」
- ◆日時／6月4日(土)午後1時30分～午後4時30分(以降10月までの全10回)
- ◆場所／あさくら館
- ◆「Facebookショップ新規参入セミナー」
- ◆日時／6月11日(土)は午後1時30分～5時、6月12日(日)・25日(土)・26日(日)は午前10時～午後5時

- ◆午後5時
- ◆場所／Y²(わいわい)ぶらざ(横手駅前)。25日は「しすてむ工房」(外目)
- ◆「元気なまちづくりは」コミュニケーションから
- ◆日時／6月18日(土)午後6時30分～9時30分
- ◆場所／Y²(わいわい)ぶらざ(横手駅前)
- ◆申込み／横手市雇用創出協議会事務局(市商工労働課内)
☎33・3899

募 「横手やきそば食べ歩き 集 覆面審査員」を大募集！

- ◆横手やきそば暖簾会に加盟している45店舗の中から、9月に秋田ふるさと村で開催される四天王決定戦に進出する店舗を覆面(覆面)審査員として、食べ歩きしてみませんか。審査費用は自己負担になりますが、主催者から記念品の進呈があります。
- ◆審査期間／6月1日(水)～7月31日(日)
- ◆問合せ／横手やきそばグランプリ実行委員会事務局
☎33・7111

お 危険物取扱者保安講習 ら せ(法定講習)のお知らせ

- ◆危険物取扱者免状の交付を受け、現在、危険物の製造所や貯蔵所、取扱所において危険物の取扱作業に従事している方は、

募 県営住宅の入居者を 集 募集しています

- ◆募集住宅／県営朝日が丘住宅(朝日が丘三丁目)
- ◆募集戸数／2戸
- ◆募集期限／6月13日(月)
- ◆問合せ／県平鹿地域振興局建築課
☎32・6206

募 「農の雇用事業」 集 参加者募集

- ◆農業法人等が就業希望者を新たに雇用して、生産技術や経営ノウハウ等を習得させる研修を実施する場合、研修費用の一部を助成します。
- ◆助成内容／研修費用・月額9万7千円を上限に、最大12ヵ月助成
- ◆募集期限／6月24日(金)日必着
- ◆問合せ／秋田県農業会議
☎018・860・3540

お 東日本大震災で被害を受 ら けた方へ税金のお知らせ

- ◆東日本大震災により被害を受けた方は、所得税の軽減や免除が受けられ、税務署で手続きすると所得税が還付される場合があります。このほか、源泉所得税の徴収猶予や廃車となった自動車の重量税の還付などの特例があります。詳しくは、横手税務署にお問い合わせください。
- ◆問合せ／横手税務署
☎32・6090

催 家庭犬のしつけ方教室を し 開催します

- ◆日時／6月18日(土)午後1時30分～3時30分※飼い犬と参加する場合、申し込み必要。
- ◆場所／横手保健所駐車場
- ◆申込み／横手保健所環境指導課
☎45・6139

- ◆日程・場所／7月20日(水)湯沢雄勝広域交流センター、8月25日(木)平鹿生涯学習センター、9月13日(火)大曲交流センター
- ◆時間／各日とも午前9時～正午(給油取扱所講習)、午後1時30分～4時30分(一般講習)
- ◆問合せ／秋田県危険物安全協会連合会
☎018・867・2246

原則3年以内ごとの受講が義務づけられています。
申請書類は、市消防本部予防課で配布していますので、次に該当する方は、手続きをしてください。

- ①平成20年度に免状の交付を受けた方
- ②平成20年度に保安講習を受けた方
- ③新たに危険物取扱作業に従事して1年以内の方
- ④免状があり、①～③以外で受講を希望する方

募 炭化汚泥肥料の利用者を 集 募集しています

- ◆炭化汚泥肥料は、下水汚泥を低酸素状態で加熱し、炭化させたもので、黒色、無臭で、リン成分を含んでいます。
- ◆県では、実際に炭化汚泥肥料を利用して、意見や感想を寄せてくれる方を募集します。

催 雄物川歴史散策に し 参加してみませんか

- ◆日時／6月12日(日)午前9時～午後2時
- ◆集合場所／雄物川民家苑駐車場
- ◆コース／蔵光院(沼の柵本城跡)、雄物川郷土資料館、木戸五郎兵衛村
- ◆定員／15人
- ◆参加費／1,000円(昼食付)
- ◆申込期限／6月8日(水)
- ◆申込み／雄物川散策案内人「汲古の会」
☎33・2756

催 郷土の史跡・文化財探訪 し を開催します

- ◆史跡・昭和8年12月建立記録碑(横手地区)を探訪します。
- ◆日時／6月15日(水)午前8時20分(あさくら館集合)～正午
- ◆申込期間／6月6日(月)～8日(水)※先着20人
- ◆申込み／あさくら館
☎35・2138
- ◆問合せ／横手文化財保護協会
半田さん ☎32・4772

炭化汚泥肥料は、下水汚泥を低酸素状態で加熱し、炭化させたもので、黒色、無臭で、リン成分を含んでいます。県では、実際に炭化汚泥肥料を利用して、意見や感想を寄せてくれる方を募集します。

市民コーディネーター養成講座から生まれた よこてジャリ銭バトル寄席を開催します

- ◆地元在住のアマチュア芸人が歌やマジック、パフォーマンスなど、愉快的芸を披露します。おもしろい芸に対しては、会場から投げ銭をしてもらいます。
- ◆新潟県の芸人さんもゲスト出演しますので、新しい笑いの文化、をお楽しみください。
- ◆なお、集まった投げ銭の一部でうちわを購入し、手書きのメッセージを添えて被災者に手渡す予定です。
- ◆日時／6月18日(土)午後7時～(開場:午後6時30分)
- ◆場所／Y²(わいわい)ぶらざ(横手駅前)
- ◆参加費／無料(投げ銭にご協力ください)
- ◆問合せ／よこてジャリ銭バトル寄席実行委員会事務局
☎23-5227

献血日程

月日・地域	実施場所	受付時間	種類
6月9日(木) 大雄	大和更生園	10:00～10:30	全血
	睦合成工業(株)秋田工場	11:00～11:40	
	(株)宮腰デジタルシステムズ	12:20～13:00	
6月14日(火) 横手	横手市役所 大雄庁舎	14:30～15:40	
	横手税務署	10:00～10:30	
	西東北日野自動車(株)横手支店	11:00～11:40	
6月16日(木) 横手	東北農政局平鹿平野水利事業所	15:00～15:40	
	J A 秋田ふるさと横手総合支店	10:00～10:30	
	平鹿農業共済組合	11:00～11:40	
	協同組合横手卸センター	13:00～14:15	
	東日本高速道路(株)東北支社横手管理事務所	15:00～15:40	





『押花・ポーセラーツ作品展』
●期間／5月20日(金)～6月14日(火) ●場所／秋田ふるさと村工芸展示館 ●入場料／無料※開催期間中の各日曜日に体験会を行います ●問合せ／宮本さん ☎24-3145

南部シルバーエリア 各種イベント案内
【ステンドグラス展】入場無料
●期間／6月1日(水)～28日(火)、午前9時～午後5時
【料理教室】笹巻き作り
●日時／6月25日(土)午前9時20分～ ●参加費／500円(材料費・保険料込) ●定員／30人 ●申込期間／6月1日(水)～18日(土) ●持ち物／エプロン、筆記用具 ●申込み／南部シルバーエリア ☎26-3880

『鍛冶台いこいの森 自然観察会』
●日時／6月4日(土)午前9時30分～午後0時30分(小雨決行) ●集合場所／えがいの丘駐車場 ●参加費／無料 ●申込み／不要 ●持ち物／飲物、雨具、タオル、筆記用具 ●問合せ／自然観察指導員雄平会 藤井さん ☎33-9765

箏曲落の会『春風コンサート』
●日時／6月5日(日)午後2時30分～3時10分 ●場所／横手病院新内科待合室 ●入場料／無料 ●予定曲／荒城の月、さくら変奏曲他 ●問合せ／高橋さん ☎36-1937

ソフトテニスで心地良い汗を流しませんか！
●日時／6月7日(火)午後1時～4時 ※毎週火曜日・金曜日開催 ●場所／大鳥公園テニスコート(火曜日)、横手公園テニスコート(金曜日) ●対象／男性50歳以上、女性35歳以上 ●年会費／1,200円 ●問合せ／県シニアソフトテニス連盟横手支部 戸田さん ☎32-0667

歌の好きな人集まれ ～思いっきり歌声喫茶～
●日時／6月9日(木)午後7時～ ●場所／煉瓦屋(寿町) ●参加費／1,000円(飲み物、ケーキ付)※要予約 ●予定曲／牧場の朝など20曲以上 ●申込み／煉瓦屋 ☎33-2811

横手さつき盆栽会『花季展示会』
●期間／6月10日(金)～12日(日)、午前9時～午後4時 ●場所／横手駅南町内会館 ※期間中、剪定講習会を開催予定 ●問合せ／中沢さん ☎32-9383

横手EM推進会『水質浄化活動』
EM菌を活用し、沼の水質浄化活動を行います。
●日時／6月12日(日)午前9時～ ※雨天延期 ●場所／荒沼(朝日が丘) ●問合せ／日高さん ☎32-9560

横手墨絵の会『墨絵教室』
●日時／6月14日(火)午後1時30分～3時30分 ※毎月第2、4火曜日開催 ●場所／Y²(わいわい)ぶらざ(横手駅前) ●問合せ／高橋さん ☎090-8780-6740

十文字車座の会『地球温暖化防止の京都議定書とゴミ焼却場建設問題を考える』
●日時／6月14日(火)午後7時～9時 ●場所／十文字文化センター ●参加費／100円(資料代) ●問合せ／小川さん ☎42-3853

横手星の会『初夏の星座の探し方・土星の観察』
●日時／6月18日(土)午後7時～9時(雨天・曇天は中止) ●場所／秋田ふるさと村第四駐車場 ●参加費／無料 ●問合せ／武市さん ☎33-3997

第28回さくらんぼ杯『がんばろう!!東北将棋大会』
●日時／6月19日(日)午前9時受付(先着100人) ●場所／よこて市商工会(道の駅十文字裏) ●参加費／1,500円、高校生以下1,000円(参加賞、昼食付) ●クラス／A級・B級・C級・初級 ●審判長／棋士・鈴木大介八段 ●問合せ／佐藤さん ☎090-3365-2720

『へら鮎釣大会』
●日時／6月19日(日)午前4時30分～正午 ●場所／横手公園牛沼 ●参加費／1,500円 ●申込み／6月14日(火)まで横手釣具センター備え付け名簿に記入 ●問合せ／横手へら鮎釣研究会 大関さん ☎33-2468

ブリザーブドフラワー『プチブーケ作り』
●日時／6月22日(水)午後1時30分～ ●場所／あさくら館 ●参加費／2,800円(材料代) ●持ち物／ハサミ ●申込み／藤王さん ☎090-7064-5602

横手おやこ劇場 第72回鑑賞活動(演劇集団FACT公演)『劇遊びワークショップ まるまる森のお話』
●日時／6月24日(金)午後7時開演 ●場所／Y²(わいわい)ぶらざ(横手駅前) ●会費／入会金200円、月会費800円(3歳以下無料) ●問合せ／横手おやこ劇場 ☎33-0812(火曜日・金曜日の午前10時30分～午後2時30分)

ほろっとキッズ『秘密基地(かくれが)をつくって遊ぼう!』
●日時／6月25日(土)午前10時～26日(日)午前10時 ●場所／保呂羽山少年自然の家 ●対象／小学生20人 ●参加費／2,200円(食費、保険代等) ●申込期限／6月15日(水) ●問合せ／ほろっとキッズ 高橋さん ☎22-4511

『リンパケアお試し会』(フットケア、ハンドケア)
●日時／6月25日(土)午後1時～5時 ●場所／ふるさと館(境町) ●参加費／500円※要予約 ●問合せ／大久保さん ☎090-7325-0212

エンジョイ! カヌー参加者募集
●日時／6月26日(日)午前10時～午後3時 ●場所／保呂羽山少年自然の家及び六沢堤 ●参加費／1,000円(昼食・保険代) ●定員／先着40人(家族・大人を含むグループ) ●問合せ／保呂羽山少年自然の家 ☎26-6011

第7回みちのく秋田チャリティーラン&ウォーク大会
東日本大震災の被災地支援のためのチャリティーイベントです。参加者の走行距離(1キロ×5円)が義援金になります。※ボランティアスタッフも募集中
●期間／7月2日(土)～3日(日) ●場所／グリーンスタジアムよこて周辺 ●種目／【個人の部】24時間・12時間・6時間【リレーの部】24時間 ●申込方法／各体育館備え付けの申込用紙にて ●申込期限／6月10日(金) ●問合せ／みちのく秋田チャリティーラン&ウォーク実行委員会 大友さん ☎090-2366-0755

自然を愛する皆さんの集い
200回達成記念企画

～我が郷土四季の讃歌～

今まで出演・協力していただいた、さまざまなジャンルのグループ約40団体が、歌や楽器で郷土の四季を表現します。
◆日時／6月19日(日)午後1時開演
◆場所／横手市民会館
◆料金／大人1,000円(当日1,200円)、小学生・中学生800円
◆チケット／カシワヤ楽器、市内よねや全店
◆問合せ／煉瓦屋 小松さん ☎33-2811

休館日

お出かけ前にご確認ください

横手図書館	6月1・8・15日	ゆとり館	6月7・14日
増田図書館	6月1・6・13日	えがいの丘	6月6・13日
平鹿図書館	6月1・7・14日	大森健康温泉	6月6・13日
雄物川図書館	6月1・6～10・15日	ゆとりおんだ雄	6月2日
大森図書館	6月1・7・14日	南部シルバーエリア	6月6・13日
十文字図書館	6月1・8・15日	健康の駅トレーニングセンター	
山内図書館	6月4・5・11・12日	東部	6月1・8・15日
大雄図書館	6月2・6・9・13日	西・南部	6月4・5・11・12日
雄物川資料館	6月6・13日	子どもと老人のふれあいセンター	
ゆっふる	6月15日		6月6・13日

診療所

ご確認ください

【増田地域】

増田町診療所(耳鼻咽喉科)

診療日 6月1・8・15日(水)
診療時間 14:00～15:30

【雄物川地域】

えがいの丘診療所

診療日 6月1・8・15日(水)
診療時間 14:30～15:30

大沢診療所

診療日 6月13日(月)
診療時間 13:30～14:30



巧

たくみ Vol. 67

ワラ工品



温もりと懐かしさを感じさせる 昔ながらの技法と素材の妙

かつて、雨中の農作業に欠かせない作業衣であったケラや雪道を歩くときの必需品であるサンペイなど、ワラやスゲで手作りされていた雨具や履き物。戦後、化学製品の発達と普及に伴い、需要とともにこれらを作る技術を持つ人が急激に減る一方、郷愁を誘う民芸品や工芸品として、手作りの温もりが注目されるようになった。

今から18年ほど前、偶然目にしたシベワラジを見て、「これなら自分の方がもっと上手に作れる」と思った。自分で履くものは自分で作るという子ども時代を送った巧は、昔を思い出しながらワラジ作りに取り組み始めた。40年以上のブランクにもかかわらず、作り方は意外なほどしっかりと覚えていた。ワラジだけでなく、ゾウリやサンペイなどを作っては、知人にあげたり公民館など近くの施設に寄贈。時には、仕事で海外に行く機会の多い知人に、土産物として製作を依頼されることもあった。

しかし、10年ほど前からしだいにワラの入手が難しくなる。そんな時、かつて余った畳表のイグサを水で濡らして柔らかくして使っていたことを思い出した。「イグサの向きや堅さなどがある程度そろっていないと細工が難しい」と巧はいう。その後、イグサと紙製の荷造りヒモや毛糸などを組み合わせ、独自の作り方でケラの壁掛けや愛らしいミニチュアのシベワラジなどを作り続けている。

「作り方を教えてほしいと頼まれるが、なかなか習得できる人がいない」と話す巧。「作り方が途絶えてしまうのが気掛かり…」と、伝統の技法を後世に伝えたいとの思いが垣間見えた。

作ったものを貰ってもらうときの、
嬉しそうな笑顔が何よりの励み。



伊藤 昭五さん(84歳・横手)

いとう しょうご
昭和22年、旧黒川村生まれ。高等学校を卒業後、農業のかたわら建設・土木業に従事。65歳で一線を退いたあと、息子さんが持ち帰ったシベワラジを目にしたことをきっかけにワラ工品の製作を始める。昨年10月から、妻のミツさんとケアハウス・ビハール横手に入所。壁掛けや置物の製作を続けている。



【提供】
真人フルーツ
倶楽部
☎45-3505

今月の読者
プレゼント

増田産りんご使用
ジュース&乾燥果実

生産者が熱意と情熱を注いだ増田産の完熟りんごを使い、新しいジュースとスイーツができました。真人フルーツ倶楽部のりんごジュース(130g)2パックとドライりんご(70g入)1袋をセットにして5名様

にプレゼントします。

応募方法

発行号「6月1日号」で、郵便番号、住所、氏名、年齢を明記し、必ず「たより」の文面を添えてお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

締め切りは 6月25日(消印有効)

あとがき

こんちは。4月から広報を担当することになりました。これから取材先でお世話になります。よろしくお願いいたします。さて、緑が日ごとに色濃くなってきたこの季節。健康診断のお知らせが届いている方もいらっしゃると思います。なぜかとも体重が気になってしまったり、無駄な抵抗と思いつつ、何かしなくてはとランニングをしてみても、長年蓄えた脂肪はなかなか燃焼されず涙。日頃から適度な運動を続けることが大切ですね。(あけみ)



ふれあい
語らい

61
2011
(4/16~5/15日発売分)

読者同士の交流や情報交換に、いろいろな声をお寄せください。

を咲かせてくれることを願っています。

(T・Nさん・82歳・増田)

年明けの大雪、そして東日本大震災。自然の恐ろしさと人間の小ささをまざまざと感じさせられる出来事ばかり。前向きに、今を大切に生きていかなければいけないと感じています。一日一日、ありがたく過ごせる日々感謝しながら…。

(とつくんさん・大森)

民放のテレビ番組で、よく県南の独特な食文化が紹介されています。地元なので「当たり前」だと思っていました。が、先人の知恵には頭が下がります。これからも守っていききたいですね。

(ネコママさん・50歳・横手)

先日、「弘前の桜まつり」に行った際、ある飲食店のサラダの中に、先月の読者プレゼントだったアイスプラントが入っていました。シャキシャキ(サクサク?)とした新食感にとても感動しました。まさに未来食だと思います。感動をありがとうございます！

(畠山安弘さん・54歳・平鹿)

孫のおやつに、スーパーへお菓子を買いに行ったときのこと。私がレジへ商品を持っていくと、店員さんが申し訳なさそうに「お客さま…」と

言うのです。私は、連なって売っているうちの一袋だけを切り取ってしまったのでした。恥ずかしい思いをしましたが、孫の喜ぶ姿を見ると、それも吹き飛びました。

(岩ちゃんさん・59歳・十文字)

ゴールデンウィーク中、市街で観光客から、「本多上野介正純」の墓の場所を聞かれました。数人に尋ねてもわからず、看板もないため、観光面でもっとPRしたほうがよいのでは、とのことでした。徳川家康の側近で、徳川幕府の礎を築くのに功績があった「正純」と横手にまつわる史跡・旧跡の本をいま一度、改めて読んでみようと思わされた出来事でした。

(朝顔の家さん・76歳・横手)

今年も暖かくなり、野菜作りの季節になりました。毎年、家庭菜園を通して、自然の厳しさや野菜づくりの難しさを学んでいます。今年も無農薬の野菜作りで、心身ともに健

康になりたいと思います。

(栗原研さん・20歳・大森)

東日本大震災で被災された方々へ「がんばろう日本、がんばろう東北」という声が日本中から届いています。ゴムは引つ張りすぎると切れてしまうように、人間も頑張りすぎると同じことになってしまふと思います。これからも、細く長く支援していきたいです。

(トクケンさん・61歳・増田)

ゴールデンウィーク中、石巻から来たという親子に出会いました。夫婦と明るい子どもたちから、子どもを不幸にしてはいけない、たとえすべてを失っても子を思う、親の心を感じることができました。今は辛くとも、明るい明日はきつと来る、と私自身も励まされました。

(遠藤さん・67歳・平鹿)

◆市民の方から『障がい者』と『障害者』の表記に関するお問い合わせいただきました。新聞やテレビでは『障がい』としているのが多いようですが、とのご指摘でした。市では、『身体障害』や『障害者』な

ど、漢字表記していた『害』を、平成19年4月からひらがなを用いることとしており、市が発行する文書や広報紙などでは、『障がい』と表記しています。ただし、法令等で使用される用語や関係団体の名称、関係施設の名称などのように、固有の名称と判断されるものについては、漢字を用いて表記しています。そのため、場合により両方の表記が混在することがあります。

おたよりお待ちしています

読者の声「たより」は、読者の皆さんのページです。市への意見や市報の感想などを、はがきや封書、ファクスで左記のあて先までお送りください。おたよりには、必ず住所、氏名、年齢、連絡先をご記入ください。(市報に掲載する場合にペンネームがイニシャルを希望する方は、氏名の後に記入してください)

なお、おたよりをくださった方の中から、抽選で『読者プレゼント』の商品を差し上げます。応募方法は23ページをご覧ください。

「たより」のあて先

〒013-8601
横手市条里二丁目1番64号
横手市役所市長公室 広報広聴担当 まで ☎33-6061

※「たより」と明記してください
※ご記入いただいた個人情報は、記載内容の確認および商品の発送の目的に使用し、この目的以外には使用しません。

暮らしのカレンダー

6/1 ▶ 20

6/	さんない芝桜を観る会▶〜5日、大松川ダム公園 法 横手地域局▶10:00〜12:00/13:00〜15:00、 社協・横手福祉センター ☎33-8668 法 相談予約受付開始(6/15分) 市総務課 ☎35-2161 行 大森コミュニティセンター▶9:30〜12:00 心 社協・平鹿福祉センター(ゆとり館) 心 横手地域局
1 水	
2 木	
3 金	心 十文字町幸福会館
4 土	みどりの朝市 横手市水防訓練▶9:00〜、大上橋下流・大雄運動公園 手打ちそば三平『山菜まつり』 横手川等クリーンアップ▶9:00〜 『厄神立て』▶19:00〜、大雄藤巻地区 急 市立横手病院(磯部医師) ☎32-5001 児 平鹿総合病院(岡田医師) ☎32-5124
5 日	
6 月	法 社協・平鹿福祉センター(ゆとり館) ▶10:00〜12:00、社協・平鹿福祉センター ☎24-3283
7 火	心 社協・山内福祉センター(ゆうらく館)
8 水	人 市役所南庁舎▶9:00〜12:00/13:00〜16:00 心 雄物川コミュニティセンター
9 木	税 横手地域局 心 増田地区多目的研修センター
10 金	行 横手地域局 1階総合案内▶13:00〜15:00 心 社協・大雄福祉センター
11 土	◆横手体育館無料開放日 6月11日(土)9:00〜15:00 種目/卓球、バドミントン、ミニテニス他 ☎33-2102
12 日	東北植木盆栽市▶〜19日、9:00〜日没、道の駅十文字隣接地 急 福嶋内科医院(横手) ☎33-9311 児 平鹿総合病院(無江医師) ☎32-5124
13 月	
14 火	心 大森コミュニティセンター
15 水	法 市役所南庁舎▶13:00〜15:00、市総務課 ☎35-2161 心 社協・平鹿福祉センター(ゆとり館) 心 横手地域局
16 木	
17 金	法 大森コミュニティセンター ▶10:00〜12:00、社協・大森福祉センター ☎26-3274 心 十文字町幸福会館
18 土	よこてジャリ銭バトル寄席▶詳しくは19ページ
19 日	急 市立横手病院(齊藤公基医師) ☎32-5001 児 平鹿総合病院(石橋医師) ☎32-5124
20 月	十文字さくらんぼまつり▶〜7月15日 行 雄物川保健センター▶10:00〜12:00 法 増田地区多目的研修センター ▶10:00〜12:00、社協・増田福祉センター ☎45-4848

- 【無料相談】 行…行政 法…法律(要予約) 人…人権
税…税務(9:30〜12:00) 心…心配ごと(9:30〜12:00)
【救急医療】 急…休日救急当番医(9:00〜12:00)
児…日曜夜間小児救急外来(受付18:00〜21:00)
【社会保険年金相談】 横手地域局 1階相談窓口 ☎32-2111(内線8529)
・毎週月曜〜木曜 10:00〜12:00/13:00〜15:00

十文字さくらんぼまつり



■6月20日(月)〜7月15日(金)

今年も恒例のさくらんぼまつりが開かれます。期間中は各地区の樹園地で、さくらんぼ狩りや直売が行われますので、ぜひおいでください。

【さくらんぼ狩り】

◆場 所/十五野・富沢・新処・四ツ屋・腕越・佐吉開の各地区樹園地

※期間中は『道の駅十文字』内の案内所で、受け入れ可能な場所をご案内します。団体の場合は予約が必要となります。

◆料 金/中学生以上1,000円、小学生700円、幼児500円(1時間食べ放題)

※持ち帰りは別料金となります。

◆問合せ/案内所(道の駅十文字内) ☎23-9320

期間中の主なイベント

【十文字マラソン(さくらんぼマラソン)】

◆日 時/6月26日(日) 午前9時〜

◆場 所/十文字陸上競技場

◆コース/小学生の部1.5km、中学生男女・高校女子・一般女子の部3km、高校男子・一般男子の部5km

◆申込期限/6月20日(月)

◆申込み/十文字生涯学習センター ☎42-2067

【さくらんぼタネ飛ばし大会】

◆日 時/7月3日(日) 午前9時30分〜受付

◆場 所/十文字陸上競技場

◆問合せ/十文字町観光協会 ☎42-0406

十文字地域局産業建設課 ☎42-5119

『みどりの朝市』がはじまります

◆期 間/6月4日(土)〜11月12日(土)

毎週水曜日・土曜日の午前5時30分から

◆場 所/横手地域局駐車場(秋田銀行横手支店側)

◆問合せ/横手地域局産業建設課 ☎32-2718

手打ちそば三平『山菜まつり』

◆日 時/6月5日(日) 午前10時〜

◆場 所/手打ちそば三平(増田町上畑)

主なイベント

【ざるそば・かけそば早食い大会】

午前11時〜、参加費500円、先着10人(賞品あり)

【抽選会】

山菜や野菜のお買い上げ300円毎に福引券を発行して、抽選会を行います。

【ミズ汁無料サービス】

◆問合せ/天下森振興公社 ☎45-9816

無料映写会 ~ 南部シルバーエリア(大森町)

親子でどうぞ

◆上映時間/午後1時〜 ◆問合せ/☎26-3880

6月5日(日)「レミーのおいしいレストラン」【111分】

6月12日(日)「カンフー・パンダ スペシャル・エディション」【92分】